

2023



緑小だより 3号

令和5年6月

清川村立緑小学校

児童数 111人

家庭数 82戸



水無月に 児童集会と 読書月間



校長 船津 慎一

9日に「オールスターフェスティバル」を宮ヶ瀬小とも交流して行いました。そもそも児童集会は、「単なるお楽しみのお祭り」ではなく、高学年の子どもたちが中心となって計画や運営を行い、異年齢集団での交流をとおして、児童の自発的な活動を展開することを目的としています。今年は保護者の皆様にも参観いただきました。ありがとうございました。

児童集会では緑小初の取組で、縦割り班活動「グリーンキッズ」(赤組・黄組各9班)を核として、それぞれのグループが出し物を考え、練習し、そして当日を迎えました。グループでの最初の話し合いでは、「何をしたらよいのか」「どうすればよいのか」と、皆目見当のつかない様子が見られましたが、高学年を中心に、今までの経験からアイデアを出し合い、話し合い、協力して練習に取り組んでできました。前日に行ったリハーサルからさらに改良を加えたグループもあり、「より楽しいものにしたい」という思いも感じられました。

世の中が便利になったことで、子どもたちが自分たちで考えて、自分たちで楽しめるようにいろいろな工夫をする機会が少なくなってきたようにも思われます。AIが発達する社会で人が独自の力を発揮できるのは、想像力と創造力、そしてコミュニケーション能力であるとも言われています。これらを育み未来を切り拓く子どもたちにとって、今回は良い経験ができたと思います。大人からすれば「もう少し…」ということもあろうかと思いますが、それはいろいろな経験をした大人だからこそ見えることです。緑小の子どもたちが、自分たちの集会を自分たちのものであると改めて認識できた良い機会として、今後の子どもたちの成長を見守っていただきたいと思います。

また、今月は読書月間です。私は先日、脳科学に基づいた読書についての新書※を読みました。「最新の脳科学で出た結論」などと書いてあり、次のこと等が書かれていました。

☆2時間の勉強より1時間勉強+1時間読書の方が、学力が伸びる(ただし睡眠は8時間以上)

☆「ハッピーエンド」の物語を読むとポジティブ思考が身につく

☆小学生の学力に一番影響するのは家庭での読書活動である

☆読み聞かせをするとコミュニケーションの脳が働く 等々…

「学力」が何を意味するかということもありますが、科学的データからの結果ということでしたから、子どもたちの理解力などが伸びるという点では信頼はおけると思います。普段何かと忙しいと思いますが、ご家庭でも読書月間に取り組みはてはいかがでしょうか。

文末になりますが、読み聞かせボランティア「お話玉手箱」の皆様、いつも子どもたちのためにご来校くださり、ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

※青春出版社 「本の読み方」で学力は決まる 監修：川島隆太 2018

1. 2年生遠足 ~ズーラシア~

5月18日(木)に遠足へ行ってきました。たくさんの動物を見学して、とても楽しい1日でした。

やっぱりゾウは大きいね!



ペンギンがたくさん泳いでいるよ!



お弁当、おいしい!

オールスターフェスティバル(6月6日)

今年度は、グリーンキッズ(縦割りの班)での発表を行いました。班毎に発表内容を1から相談し、練習を重ねて作り上げました。どの班も工夫を凝らし、協力して楽しく取り組むことができました。

カラフルスワイルで協力し、緑小の未来を育もう!



チーム イエローアップル
(黄色 789班)



チーム グットなぞとき
(赤色 123班)



チーム ミニオンズ
(黄色 123班)



チーム 宮ヶ瀬小



チーム Quiz Red
(赤色 789班)



チーム カラーオブストーリー
(黄色 456班)



チーム パワーレッド
(赤色 456班)



全校レクリエーション